

# 大湊の造船史継承

## 元従業員ら市へ資料寄贈

かつて造船業が盛んだった伊勢市大湊町にあり、既に廃業した市川造船所の元従業員た

ちが十九日、造船所に  
図の他、窓枠やランプ  
といった船具など明治  
初期から平成にかけて  
の資料を寄せた。

市役所での寄贈式で  
は労組分会の中村実  
男執行委員長(左)が  
鈴木健一市長に資料の  
目録を贈呈。「日本の  
造船史上で貴重な資  
料もある。今後も活用  
してほしい」と要望し  
た。

ちが十九日、造船所に  
伝わっていた木造船の  
設計図などの資料六万  
一千九百七点を市に  
寄贈した。

造船に関わっていた  
市民有志の「伊勢の造  
船資料を継承する会」  
や市教育委員会による  
調査が一段落し、市が  
資料を保管することに  
決まったことを受けて  
寄贈した。

た。

「継承する会」の市  
谷日出夫会長(左)は  
「造船の歴史を知って  
もらえる展示施設開設  
を目指し、市と協議し  
たい」と話した。

(川原田喜子)

大湊町の造船業は、  
昭和四十年代を最盛期  
に石油危機などを受け  
て徐々に衰退。一七〇  
二(元禄一五)年に創  
業した市川造船所も二  
〇〇六年、歴史に幕を  
下ろした。

資料を贈ったのは、  
元従業員たちでつくる  
全日本造船機械労働組  
合市川造船分会。設計



寄贈された設計図などの資料＝伊勢市役所で